

株主・投資家の皆様へ

LINTEC

WAVE

リンテックウェーブ

*Linking
your
dreams*

SEPTEMBER 2020

80

● 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員 **服部 真**

● スペシャルレポート

リンテックの
コーポレートガバナンス

第127期
(2021年3月期)
第1四半期
決算情報

証券コード：7966

LINTEC WAVE 80

SEPTEMBER 2020



表紙：風わたる

はり絵画家・内田正泰氏は、独自の技法で色紙をちぎって貼り重ね、日本の美しい自然を彩り豊かに表現。四季折々の風や空気、音や薫りを感じさせ、誰もが抱く「心の原風景」を思い起こさせてくれます。

目次

2 連結業績推移

3 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長 服部 真
社長執行役員

4 スペシャルレポート

リンテックの
コーポレートガバナンス

8 トピックス

9 新聞広告シリーズ

10 決算情報

12 セグメント情報

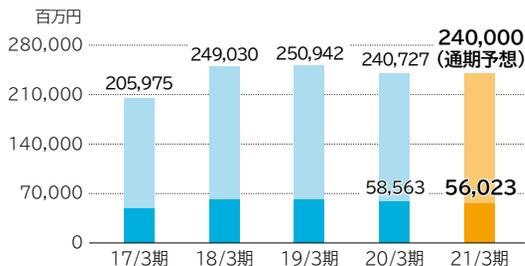
15 株式情報

(免責事項)

業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

連結業績推移

売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



▶ 2021年3月期第1四半期連結累計期間(前年同期比)

売上高

56,023 百万円 (4.3%減)

営業利益

3,545 百万円 (16.9%増)

経常利益

3,478 百万円 (24.4%増)

親会社株主に帰属する四半期純利益

2,421 百万円 (29.1%増)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2021年3月期第1四半期連結累計期間の業績は、半導体・電子部品関連製品が好調な需要に支えられ順調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響によって他の製品は総じて需要が低迷したこともあり、売上高は減少しました。一方、利益面については、半導体・電子部品関連製品の増収効果や原燃料価格の下落などにより増益となりました。

今期の業績予想につきましては、今年5月の発表時点では第3四半期以降に正常な事業活動に向かうことを前提として、右記のとおりとしました。しかし、いまだに感染拡大の収束時期は見えておらず、影響が



代表取締役社長
社長執行役員 **服部 真**
はっとり まこと

さらに長期化して業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

来期には、10年先を見据えた長期ビジョンに基づく新中期経営計画のスタートが控えています。従業員の感染防止対策を取りながら、引き続き全社一丸となってさらなる拡販やコスト削減などに努め、次なる成長への足掛かりを築いてまいります。

株主・投資家の皆様には、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

▶ 2021年3月期 連結業績予想(前年同期比)

売上高	2,400億円 (0.3%減)
営業利益	150億円 (2.9%減)
経常利益	150億円 (3.6%増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	110億円 (14.3%増)

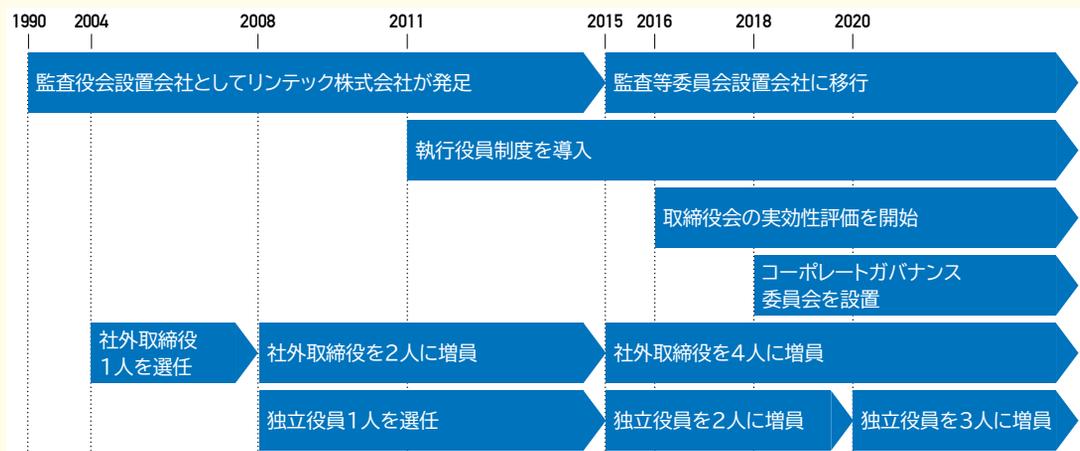
リンテックの コーポレートガバナンス

企業不祥事の防止や健全な経営に不可欠な要素として、各企業にはコーポレートガバナンス(企業統治)の強化が求められています。当社グループでもさらなる経営の透明性の向上や迅速な意思決定、効率的な業務執行を図るため、これまでにさまざまな取り組みを行ってきました。今号では、当社のガバナンス強化の歴史と現在のガバナンス体制についてご紹介します。

ガバナンス強化の歴史

1990年に3社が合併して誕生した当社では、「監査役会設置会社」として監査役が取締役の職務執行の監査を行ってきました。その後、2015年に「監査等委員会設置会社」に移行。取締役会での議決権を持つ監査等委員である取締役を置くことで、取締役会の監督機能を強化しました。

2018年には、役員の報酬および選解任について取締役会へ助言・提言を行う「コーポレートガバナンス委員会」を設置。そして、今年6月に開催した株主総会での承認を受けて、取締役の人数を削減すると同時に独立役員を増員し、経営の効率化とさらなるガバナンス体制の充実を図りました。



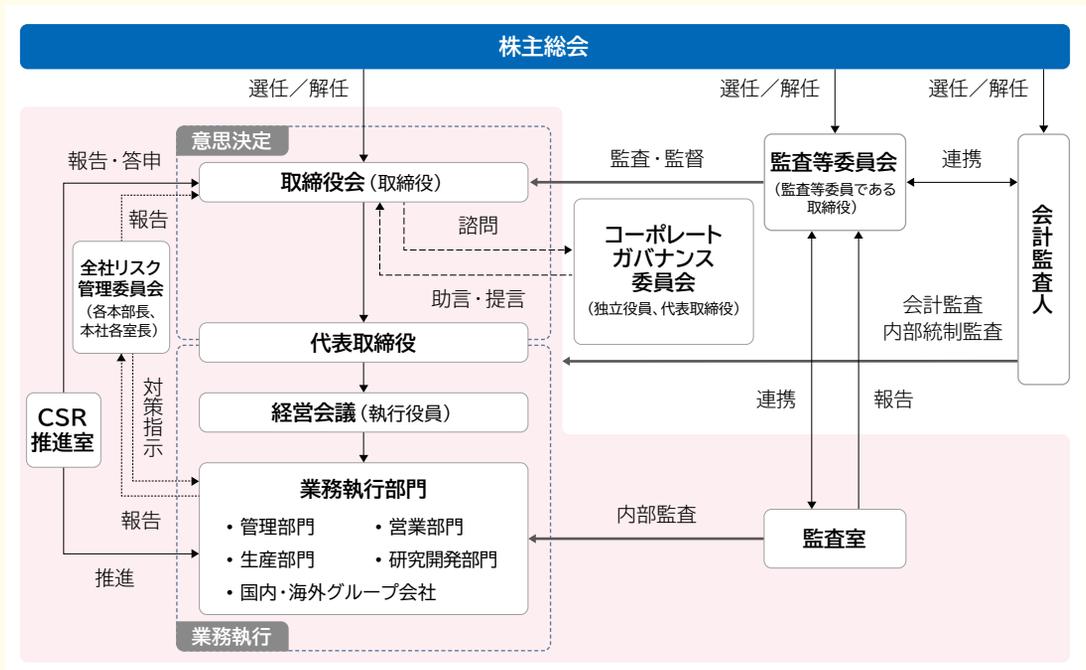
コーポレートガバナンス体制

「監査等委員会設置会社」である当社は、株主総会で選解任される取締役と監査等委員、そして会計監査人を中心としたガバナンス体制を構築しています。取締役会は経営に関する重要な意思決定を行うために毎月1回開催しているほか、必要に応じて臨時に開催し、迅速な意思決定に努めています。また、業務の執行を担う執行役員を中心とした経営会議も毎月1回開催し、各部門間の情報共有を通じて業務執行の効率化を図っています。

一方、監査等委員会は毎月1回開催し、当社の内部監査部門である監査室や会計監査人から必要な報告を受けるとともに、

両者との意見交換などを通じて、取締役の職務執行の監査を行っています。また、各監査等委員は経営会議にも出席して監査に必要な情報を入手したうえで取締役会に臨み、意見の陳述や決議への参加を通じて、取締役の職務執行の監督を行っています。

当社の会計監査人は EY 新日本有限責任監査法人が務めており、「会計監査人の評価および選定基準」に基づき、監査等委員会が会計監査人の独立性、内部統制体制、監査計画、監査の方法と結果、その職務の遂行状況などを毎期評価しています。



取締役会の構成と実効性評価

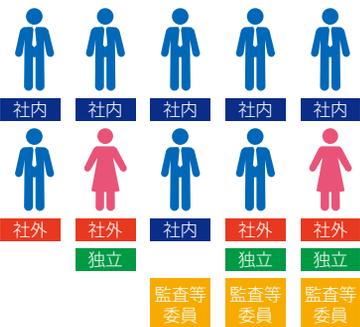
今年6月に発足した新体制では、それまで14人いた取締役を10人に減員し、経営の意思決定と業務遂行の分離を推進しました。同時に独立役員を2人から3人としたことで独立役員比率が高まり、取締役会の監督機能が強化されたほか、女性役員比率も上昇し、多様性の面からも改善が図られました。

取締役の指名については取締役選任基準内規に則り、社内取締役については豊かな業務経験や優れた経営感覚、企業経営のための指導力・統率力・行動力・企画力などを判断基準とし、社外取締役については企業経営、法務、財務・会計、

人事・労務などの専門分野における豊富な知見や経験などを判断基準としています。当社では大学教授や弁護士、異業種の経営者といった幅広い分野の人材を登用し、第三者の視点を経営に積極的に取り入れることで取締役会のさらなる活性化を目指しています。

また2016年から、取締役会の課題を調査・分析し、その機能をより高めていくため、取締役会の実効性評価を実施しています。一連の実施プロセスは独立役員による評価を受けており、より実効性のある取締役会の運営に向けて、毎年改善が図られています。

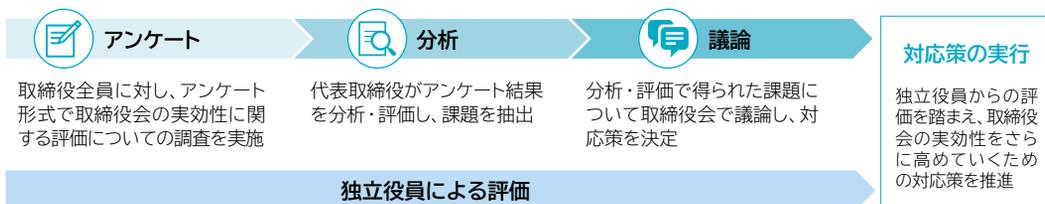
取締役会の構成



役員構成の変化 (2020年6月22日開催の株主総会前後の比較)

取締役の人数	14人	➔	10人
社外取締役の比率	28.6% (4人/14人)	➔	40.0% (4人/10人)
独立役員の比率	14.3% (2人/14人)	➔	30.0% (3人/10人)
女性役員の比率	7.1% (1人/14人)	➔	20.0% (2人/10人)

取締役会実効性評価の実施プロセス



新任独立役員メッセージ

マーケット分析の知見を生かし、企業価値向上に貢献していきます



取締役(社外)

奥島 晶子(おくしま あきこ)

1981年に日本アイ・ビー・エム株式会社入社。その後、外資系IT企業などでデータを活用したマーケティングやコンサルティング業務に携わる。2001年にジェイビートゥビー株式会社を設立し、代表取締役社長に就任(現任)。今年6月に当社社外取締役に就任。

私は「業務改革のためのシステム化」を自身のキャリアの核として、データを徹底して活用することをライフワークにしています。約20年前に設立した現在の会社では、これまで数多くの企業のマーケティング活動をお手伝いしてきました。具体的には「いつ、誰が、何を、幾つ、いくらで購入したか」といった消費者の購買動向を示す「ID-POS」^{アイディー・ポズ}データを分析し、そこからどんな変化が起きているか仮説を立て、さまざまなメーカーや小売業者向けにマーケティング戦略のアドバイスをを行っています。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大により、市場環境や消費者のニーズは刻々と変化し続けています。そうした環境の変化をいち早く的確に把握することが求められており、このようなマーケット分析の側面からもリンテックの企業価値向上に貢献していきたいと考えています。

お知らせ

「統合報告書2020」を発行

このたび、投資家向けの年次報告書である「統合報告書2020」を発行しました。2020年3月期の決算情報をはじめ、独立役員のメッセージや経営層および各事業部門トップのメッセージ、そしてESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組みなど幅広い情報を掲載しておりますので、ぜひ御覧ください。

※当報告書は当社ホームページの株主・投資家情報サイトから御覧いただけます。
www.lintec.co.jp/ir/library/annual

